

Tone King

Falcon Grande'

取扱説明書



正規輸入代理店

@uanta Intl.

ビルダーからのコメント

Falcon Grandeをお選びいただきありがとうございます。

Falcon Grandeは、ファルコン・オーナーから長年に渡って寄せられてきた要望、具体的には12インチ・スピーカー、フットスイッチで切り替え可能なヴォイシング、リバーブといった要望を満たすものです。これらのシンプルな目標を念頭に置いてスタートし、回路とキャビネットの完全な再設計が行われグランデは正真正銘の新設計となりました。



新しいウルトラリア出力段のデザインは、同じフルボディ・サウンド、厚みのある中域、甘いトップエンドを提供しますが、完璧にコントロールされたコンプレッションと非常に低いハムノイズを備えています。この出力段をどんなにハードにプッシュしても、コンプレッションが強くなりすぎることはありません。トーンキング・リバーブ回路を再設計。2ノブ回路は、旧来の回路よりも柔軟性があり、幅広い操作が可能です。セッティングはシマーなサウンドからスプラッシーなサーフ・サウンドまで対応し、新しいレシーバー回路は非常に透明度が高く、旧来の設計よりもリバーブ・パンからディテールと倍音を引き出すことができる事で、Falcon Grandeのようなヴィンテージスタイルのアンプに完璧にマッチします。この特別バージョンのFalconをお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全について 取扱説明書

この取扱説明書は、今後の参照用として、またこのTone King アンプの所有期間中、大切に保管してください。新しいアンプをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解ください。この取扱説明書には、アンプの使用とメンテナンスに関する重要な安全情報が記載されています。この取扱説明書に記載されているすべての警告記号や標識、そしてアンプ本体に印刷されている警告記号や標識に特に注意してください。



火災や感電を防ぐため、アンプを水や湿気にさらさないでください。
水源の近くで使用しないでください。



矢印の三角マークが付いた稲妻は、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」が存在することを警告するためのもので、感電の危険を構成するのに十分な大きさである可能性があります。



感嘆符のような三角形のシンボルは、このアンプに付属のユーザーマニュアルに重要な操作とメンテナンス（整備）の指示があることを警告するためのものです

-
- 1 説明書を読む - 本製品を操作する前に、すべての安全および操作説明書をお読みください。
 - 2 取扱説明書の保管 - 安全および取扱説明書は、将来参照できるように保管してください
 - 3 警告にご注意ください - アンプや取扱説明書に記載されている警告は、すべて守ってください。
 - 4 指示に従ってください - すべての操作および使用上の指示に従ってください
 - 5 水と湿気 - アンプは、バスタブ、洗面器、キッチンシンク、洗濯槽、濡れた地下室、プールの近くなど、水の近くでは使用しないでください。

- 6 カートとスタンド - アンブは、メーカーが推奨するカートまたはスタンドと組み合わせてのみ使用してください。アンブとカートの組み合わせは、注意して移動してください。急停止、過度な力、凹凸のある場所などでは、アンブとカートの組み合わせが転倒する恐れがあります。
- 7 壁または天井取り付け - 製品は絶対に壁や天井に取り付けしないでください。
- 8 熱 - アンブは、ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、熱を発生する他のアンブ（アンブを含む）などの熱源から離れた場所に設置してください。
- 9 電源 - 本製品は、定格ラベルに記載されているタイプの電源からのみ操作してください。ご自宅への電源供給が不明な場合は、製品販売店または最寄りの電力会社にご相談ください。
- 10 接地または極性 - 本製品には、極性交流ラインプラグ（片方の刃がもう片方より太いプラグ）が使用されている場合があります。このプラグはコンセントに一方にしか入りません。これは安全機能です。プラグをコンセントに完全に差し込めない場合は、プラグを逆にしてみてください。それでもプラグが入らない場合は、電気技術者に連絡して、古くなったコンセントを交換してください。極性プラグの安全目的を破らないでください。
- 11 電源コード保護 - 電源コードは、プラグや便利なレセプタクルに対応するコードや、アンブから出るコードに特に注意し、その上に物を置いたり立てかけたりして歩いたり挟んだりしないように配線してください。
- 12 クリーニング - アンブのクリーニングは、メーカーが推奨する方法でのみ行ってください。水で少し湿らせた布で拭いてください。アンブ内部に水が入らないようにしてください。
- 13 不使用期間 - 長期間使用しない場合は、アンブの電源コードをコンセントから抜いてください。
- 14 物体と液体の進入 - 物が落下したり、開口部から液体が筐体内にこぼれたりしないように注意すること。
- 15 サービスを必要とする損傷 -
以下のような場合は、資格のあるサービス担当者にアンブの修理を依頼してください：
 - A. 電源コードまたはプラグが損傷している。
 - B. 物が落下した、または液体がアンブにこぼれた。
 - C. アンブが雨にさらされた。
 - D. アンブが正常に動作しない、または性能に著しい変化が見られる。
 - E. アンブを落としたり、筐体が破損した。
 - F. アンブに真空管の交換またはバイアスが必要
- 16 修理 - 使用者は、取扱説明書に記載されている以上の修理をアンブに対して行わないでください。その他の整備はすべて、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 17 換気 - キャビネットのスロットと開口部は、換気のために設けられ、製品の信頼性の高い動作と過熱からの保護を保証します。開口部を塞いだり、覆ったりしないでください。ベッド、ソファ、敷物などの上に製品を置いて開口部を塞いではなりません。本製品は、本棚やラックなどの作り付けの場所に設置しないでください。
- 18 アタッチメント - 製品メーカーが推奨していないアタッチメントは危険ですので使用しないでください。
- 19 付属品 - 不安定なカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルの上に本製品を置かないでください。製品が落下し、子供や大人が重傷を負ったり、製品に重大な損傷を与えたりする恐れがあります。
- 20 雷 - 雷雨の前や、長期間使用せずに放置する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。これにより、雷や電源サージによる製品の損傷を防ぐことができます。
- 21 交換部品 - 交換部品が必要な場合、サービス技術者がメーカー指定の交換部品を使用しているか、元の部品と同じ特性を持っていることを確認してください。無許可の代用品は、火災、感電、その他の危険を招く恐れがあります。
- 22 全チェック - 本製品のサービスまたは修理が完了したら、サービス技術者に安全チェックを依頼し、製品が適切な動作状態にあることを確認してください。
- 23 ヒューズ - リアパネルに表示されている正しい定格とタイプのヒューズを必ず使用してください。適切な定格ヒューズは、本機を使用する国の AC ライン電圧によって決まります。

取扱説明書 目次

1	仕様	4
2	フロントパネル・コントロール	5
	ギター入力	5
	ボリュームとトーン	5
	ボイシング・セレクション	5
	リバーブ・コントロール	6
3	バックパネル・コントロール	7
	AC電源	7
	ヒューズ	7
	電源スイッチ・スタンバイスイッチ	7
	フットスイッチ	7
	スピーカージャック	7
	アッテネーター・コントロール	7
4	サウンドのダイヤルイン	8
	リズム・ボイシング	8
	ツイード・ボイシング	9
	リード・ボイシング	10
5	Ironman/II アッテネーター	11
	アッテネーターの目的	11
	アッテネーター・コントロール	11
	アッテネーターの使い方	11
	テクニカル詳細	12
6	自宅で素晴らしいサウンドを	13
	音響環境の影響	13
	フロア・リフレクションズ	13
	アンプの設置場所	13
	カーペット	13
	アッテネーターが役立つ	
7	チューブの取付と交換	14
	チューブタイプの選択	14
	代替チューブの選択	14
	チューブの取り付け	14
	出力管の交換	14
	チューブの品質	
8	保証	15
9	CE宣言	16

1 仕様

Preamplifier

Channels: Single Channel with foot switchable Voicing Control
Tube Complement: 2 x 12AX7
Controls: Volume, Tone, Voicing (Rhythm, Tweed, Lead)

Reverb

Type: Full size 2-spring reverb pan
Controls: Dwell (drive level), Reverb (recovery / mix level)
Footswitch: Footswitch control of reverb (on/off)

Power Amplifier

Output: Power 20W R.M.S.
Tube: 2 x 5881, push-pull (2x6L6 may be used)
Biasing Scheme: Cathode Biasing
Operating Mode: Modified Ultralinear

Speaker

Manufacturer: 12" Custom designed speaker made by Eminence
Impedance: 8 Ohms
Magnet Type: Ceramic, 38oz
Edge Doping: Non-Doped

Power Attenuator

Type: Ironman II Compensated Power Attenuator
Load Type: Tuned Reactive Load
Attenuation Steps: 6 Steps: 0db, -3db, -9db, -15db, -24db, -36db
Compensation: Fletcher-Munson Volume Compensation Circuitry
Speaker Interface: Damping Factor Correction

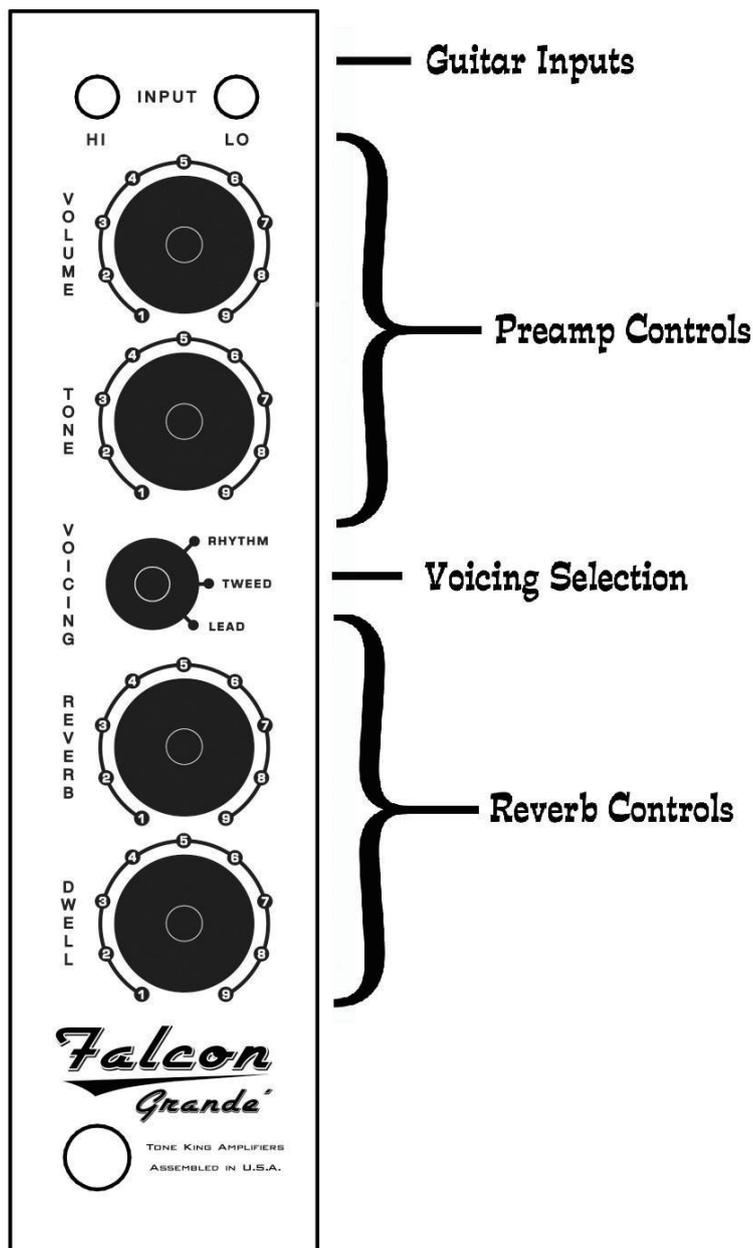
Footswitch

Type: 4-Button Footswitch with L.E.D. Indicators
Functions: Voicing Selection, Reverb on/off

Dimensions 21.5" W x 19" T x 11" D

Weight 34lbs

2 フロントパネル・コントロール



ギター入力

Falcon Grandeには、HIとLOの2つの独立したギター入力があります。HI入力はゲインが高く、LO入力はゲインが低い。

これら2つのインプットの明らかな用途の1つは、ギターのピックアップの出力レベルを補正することです。例えば、ハムバックング・ピックアップにはLOインプットを、シングルコイルにはHIインプットを使用するとよいでしょう。

しかし、HI入力とLO入力の選択には、もう1つ、あまり目立たない効果があります。HI入力からLO入力に切り替えると、プリアンプ・ステージ間のゲイン・バランスが変化し、その結果、ゲインの減少に加えてトーンも変化します。LO入力を使用すると、より太く厚みのあるミッドレンジと、よりソフトで甘いトップエンドが得られます。HI入力を使用すると、明瞭度とディテールが増し、アタックがシャープになります。

それぞれのVoicing設定でHIとLOの両方の入力を試して、音色の違いを体験するとよいでしょう。

ボリュームとトーン

Falcon Grandeのプリアンプ・コントロールは最小限のセットなので、素晴らしいトーンを作るのは非常に簡単です。Volumeコントロールはプリアンプのゲインを決定し、アンプの音量レベルを決定します。Toneコントロールは、高周波と低周波のバランスを調整し、大まかな音色のシェーピングを可能にします。この2つのコントロールはわずかに相互作用します。つまり、ボリューム・コントロールの設定によって、Toneコントロールの効果はわずかに異なります。ツイード・アンプなど、多くのクラシック・ヴィンテージ・アンプのVolumeコントロールとToneコントロールと、多かれ少なかれ同じように動作すると考えてよいでしょう。

ボイシング・セレクション

ボイシング・スイッチは、3つの異なるプリアンプ・ボイシングを選択することができ、Falcon Grandeのトーンの多様性の鍵となります。ボイシングを切り替えると、3つの異なるトーンシェーピング・プリアンプ回路が信号経路に切り替わり、トーン全体のキャラクターが変化します。ボイシングは2つの方法で選択できます。

1. フロント・パネルのボイシング・スイッチ

フットスイッチをアンプから外すと、フロントパネルのVoicingスイッチがボイシングの選択をコントロールします。

2. フットスイッチ

フットスイッチをアンプに接続すると（フットスイッチ端子はリアパネルにあります）、フロントパネルのVoicingスイッチは無効となり、フットスイッチでのみVoicingを選択できるようになります。

2 フロントパネル・コントロール

リバーブコントロール

Falcon Grandeのリバーブ回路は、より深く、よりフレキシブルに、そしてエフェクトを生み出すフルサイズのスプリング・リバーブ・パンから微妙なディテールを引き出す能力を強化した、まったく新しいデザインです。この回路には、DwellとMix（リバーブ）の両方のコントロールがあり、それぞれの使い方を理解することで、最高のリバーブ・サウンドを得ることができます。

Dwellコントロール

Dwell コントロールは、スプリング・リバーブのパンを駆動する信号のレベルを決定します。一般的に、このコントロールはリバーブサウンドの「キャラクター」をコントロールすると考えることができます。ドゥエル・コントロールを上げると、より強力なドライブ信号がリバーブ・パンに送られ、リバーブのサウンドにいくつかの影響を与えます：

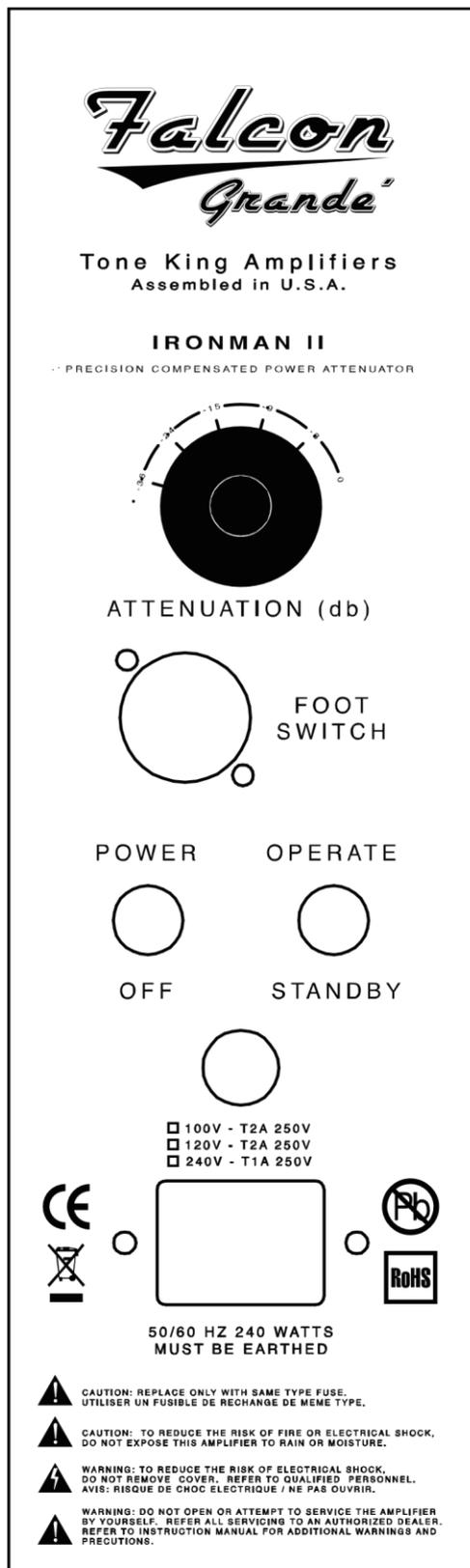
- Dwellを低く設定すると、リバーブはダークなサウンドになり、より繊細になります。
 - Dwellを高く設定すると、リバーブサウンドはよりブライトで「スプラッシュ」になり、より「フラッター」、より倍音、スプリング・リバーブ・パン特有の特性が聞こえ始めます。
-

リバーブ（ミックス）コントロール

リバーブ（ミックス）コントロールは、リバーブパンからのリバーブ信号をドライ信号とミックスする量を決定します。これは、シングル・ノブのリバーブ回路（テラックス・リバーブなど）を持つほとんどのアンプの「Reverb」ノブが果たす機能と同じです。一般的に、このコントロールはリバーブの「量」をコントロールするものと考えられます。

注意 DwellとMixの両方を上げると、サーフ・ギターのようなオーバー・ザ・トップのリバーブ・サウンドになります。この極端なセッティングは、特殊な用途を想定したもので、大げさで制御不能なリバーブ・サウンドを特殊なエフェクトとして使いたい場合に使用しません。一般的な使用は想定していません。

3 バックパネル・コントロール



AC電源

必ずアース付きのACコードを使用し、アンプに適切なアースが接続されていることを確認してください。アンプへのアース接続を持ち上げたり、壊したりしないでください。

ヒューズ

標準的な 2A スロブヒューズ (スタイル 3AG) を使用する必要があります。

電源スイッチ・スタンバイスイッチ

アンプの電源を入れるときは、まずパワースイッチとスタンバイスイッチの両方を「オフ」の位置にしてください。Power スイッチをオンにします。これにより、真空管フィラメントと低電圧回路にのみ電源が供給されます。Powerスイッチをオンにした後、真空管を約1分間ウォームアップさせ、Standbyスイッチをオンにしてください。パワーダウン・シーケンスは、パワーアップ・シーケンスほど重要ではありませんが、一般的には、スタンバイスイッチをオンの位置のまま、パワー・スイッチをオフにすることを好みます。

フットスイッチ

フットスイッチとアンプを付属のケーブル、または標準的な4極XLRケーブルで接続します。

フットスイッチをアンプに接続すると、フロントパネルのボイシング・スイッチは無効となり、ボイシングの選択はフットスイッチでのみ行えます。

スピーカージャック

Falcon Grandeには、インピーダンス8オームのスピーカーが1つ搭載されています。スピーカージャックはシャーシの側面にあり、標準的な1/4インチジャックです。拡張スピーカーを使いたい場合は、8オームのスピーカーを使うのがベストです。標準的な1/4インチのモノラル・スピーカー・ケーブルで接続するには、内蔵スピーカーのプラグを抜き、ケーブルをスピーカー・ジャックに差し込みます。

アッテネーター・コントロール

アッテネーション・コントロールは、スピーカーに送られるパワーの量を減らし、アンプの音量をコントロールするために、アンプの出力に適用される減衰の量を決定します。

4 サウンドのダイヤルイン

リズム・ボイシング

Rhythmボイシングは、60年代中頃のクラシックなクリーン・トーンをより太くウォーミーにし、トップエンドのトゲトゲしさを抑えたスムーズなサウンドを実現するよう設計されています。60年代半ばのDeluxe Reverbのような、インスピレーションの源となったアンプのサウンド特性を残した、みずみずしいクリーン・トーンです。以下は、試してみたいくなるセッティングのサンプルです：

1. 60's Clean Rhythm Tone

Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	HI	4	4	5	5
Humbucker	LO	5	6	5	5

2. Extra-Fat Clean Rhythm Tone

Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	LO	7	4	5	5

3. Pushed Clean

Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	HI	6.5	7.5	5	5
Humbucker	HI	5	7.5	5	5

4. Surf Reverb

Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	HI	7.5	8	7	9

4 サウンドのダイヤルイン

ツイード・ボイスング

Tweedボイスングは、Tweed DeluxeやTweed Bassmanなどのヴィンテージ・クラシックにインスパイアされています。非常に汎用性の高いヴォイスングです。ボリュームを絞ると、クリーン・トーンは太くウォームで、ミッドレンジに存在感があり、トップエンドはシルキーになります。そのため、テレを太くしたり、ホロウ・ボディのギターで本格的な50年代ジャズ・サウンドを出したりするのに最適だ。ボリュームを上げると、パワー・チューブがうなりと微妙なコンプレッションを加え、ピック・アタックや演奏スタイルでコントロールできるため、70年代のステイリー・ダンのレコードで聴けるような表情豊かなサウンドが得られます。音量を上げれば、ツイード・アンプが得意とするミルクセーキのような厚みのあるグランドが得られます。セッティング例をいくつかご紹介しましょう：

1. Fat Clean Tone

Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	HI	3	3	4	4
Humbucker	LO	4	4	4	4

2. Edge of Overdrive

Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	HI	5	5	3	3
Humbucker	HI	4	7	3	3

2. Hot Tweed Crunch

Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	HI	8	5	3	3
Humbucker	HI	8	6	3	3

4 サウンドのダイヤルイン

リード・ボーシング

Leadボーシングは、ベーシックなTweedサウンドにValco/Suproのモジヨを加え、ユニークでオーセンティックなオールドスクール・ギター・トーンを実現します。LOゲイン入力に接続し、ボリューム・コントロールを比較的lowめに設定すると、初期のブルースやロックンロールのサウンドを想起させる、丸みのある箱鳴りのセミ・クリーン・トーンとなり、チャック・ベリーやビル・ヘイリーなど、50年代のアーティストのレコーディングに見られる特徴的なキャラクターを捉えます。HIゲイン・インプットに接続し、ゲインを上げるとアンプが生き生きとします。このヴォーシングは、ホット・ツイードのような太いリード・サウンドを生み出すのに十分なゲインを提供する一方、ユニークな5881出力段により、どんなにハードにドライブしても、コンプレッションが強すぎたり、フィジーになったり、バジーになったりするのを防ぎます。シングルコイルでも、昔のZZ Topのレコードで聴かれたような太いクランチが得られます。

1. 1950's Rock & Roll

Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	LO	6	4	3	3
Humbucker	HI	5	4	3	3

2. Crunchy Lead

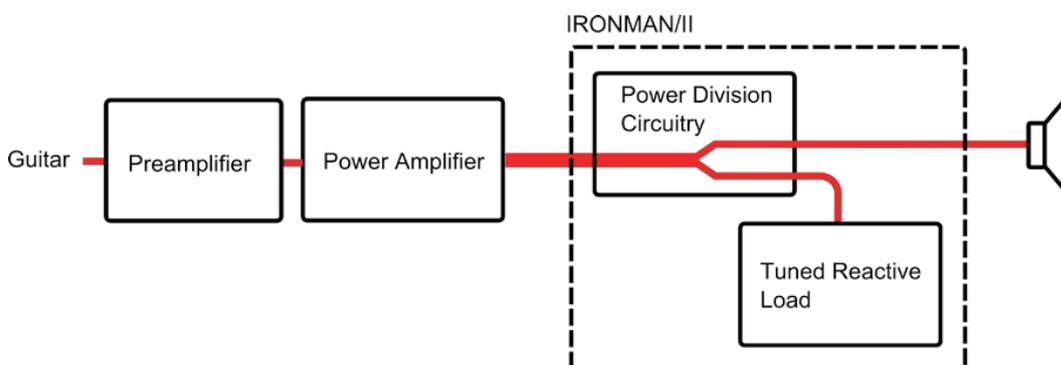
Guitar/ Pickups	Input	Volume	Tone	Reverb	Dwell
Single Coil	HI	9	5	5	2
Humbucker	HI	8	7	5	2

5 IRONMAN/II アッテネーター

アッテネーターの目的

Falcon Grandeでは、事実上すべてのオーバードライブとディストーションは、フェイズインバーターと出力管によって生成されます。出力段の歪みは、プリアンプで生成される歪みとは異なるサウンドと感触を持っており、これがFalcon Grandeのユニークなトーンの大きな部分です。このタイプの設計の難しさは、オーバードライブとディストーションが最大出力（つまり最大音量）でしか得られないことです。

アンプを最大音量で動作させることは、すべての演奏条件において現実的ではありません。そのため、パワー・アッテネーターは、出力管をフル出力で動作させながら音量レベルをコントロールするための効果的かつ必要なソリューションです。パワーアッテネーターは、パワーアンプの出力とスピーカーの間に接続される回路です。下図のように、出力管で生成されたパワーの一部を選択的にスピーカーに送り、残りを内蔵の負荷回路で分散させることができます：



アッテネーター コントロール

Attenuation ダイヤルでは、0db が最も大音量の設定です。この設定では、アッテネーターは完全にバイパスされ、スピーカーはアンプの出力に直接接続されます。-36dbは最も静かな設定です。この設定では、出力管で生成されたパワーのほとんどがアッテネーターの負荷回路で吸収され、スピーカーには数十ミリワットのパワーしか送られません。

アッテネーターの使用法

まず、アッテネーターの基本的な使い方から説明します。実用上、Attenuationノブは「マスターボリューム」コントロールと同じ機能を提供すると考えることができます。つまり、「Volume」コントロールでプリアンプのゲインやオーバードライブ/ディストーションの量を調整し、「Attenuation」ダイヤルで出したい音量レベルを設定します。この動作を確認するために、実験してみるのもよいでしょう。

例えば、リード・ボイスングを選択し、アンプを次のように設定してみてください：

Volume	Tone	Voicing	Reverb	Dwell	Attenuation
7	7	Lead	4	5	-24db

アンプで演奏しながら、Volumeコントロールを少し上下させてみてください。Volumeコントロールを少し変えるだけで、トーンは多少歪みますが、部屋の音量レベルにはあまり影響しないことがおわかりいただけるでしょう。その理由は、アンプの出力段は、アンプがブレイクアップ寸前であっても、すでに最大出力を発生しているからです。このポイントを超えてVolumeコントロールを上げると、出力段はそれ以上パワーを出すことができなくなり、オーバードライブが強くなるだけです。

この実験を試した後、ボリューム・コントロールを7に戻し、アンプの背面にあるアッテネーション・ノブを調節してみてください。部屋の音量レベルは変わりますが、オーバードライブやディストーションの量は変わらないことがわかるでしょう。これがアッテネーターの目的です。

5 IRONMAN/II アッテネーター

テクニカル詳細

ファルコン・グランデのアイアンマンIIアッテネーターは、小音量でもクランクしたアンプ・サウンドを維持するのに非常に効果的な、ある特徴を備えた洗練されたユニットです。以下は、これらの設計上の特徴に関する技術的な詳細です：

チューンド・リアクティブロード

アンプの自然なレスポンスとフィーリングを維持するには、出力管に適切な負荷をかけることが重要です。Ironman-IIのTuned Reactive Loadは、実際のスピーカーのインピーダンスカーブを忠実に反映し、ほとんどのアッテネーターに使用されている単純な抵抗負荷よりも自然なトーンとフィーリングをもたらします。

音量補正回路

多くのアッテネーターが低い設定値では音が薄く、こもって聞こえるのはそのためです。Ironman-IIは、独自のボリューム・レベル補正回路によりこの現象を克服し、減衰ステップごとにトーン・バランスを調整することで、小音量時でも大音量時と同じように深く豊かで存在感のあるサウンドを実現します。

ダンピングファクター補正

ラウドスピーカーは、わずかなパワーで駆動した場合、フルパワー時のレスポンスとは異なるパフォーマンスを発揮します。Ironman-IIのダンピングファクター補正回路は、この影響を補正し、スピーカーが小音量でより自然に動作するようにします。

ヘルプ

これまで、アンプをオーバードライブやディストーションに追い込む場合に、アッテネーターを使ってボリュームをコントロールすることを説明してきました。しかし、音量の出せない居住スペースでのサウンドメイクにも役立ちます。

通常のサウンドメイクでは、クリーン・トーンをダイヤル・インする際、アッテネーター・ノブを0dbに設定するか、アッテネーターをバイパスします。こうすることで、常にヘッドルームが最大になり、明瞭度とダイナミクスが最大になります。

しかし、音量の出せない部屋の中でアンプのサウンドが大きく、Volumeノブの設定を1と2の間に行っているためにボリュームをコントロールするのが難しいという場合は、アッテネーターが役に立ちます。アッテネーターを数段下げて（例：-15db）LOインプットに接続し、Volumeコントロールを少し上げて補正してみてください。アッパーミッドが滑らかになり、存在感を失うことなくトーンが太くなるのがわかるはずです。

6 自宅で素晴らしいサウンドを

音響環境の影響

大きな部屋や大きなステージで演奏する場合、アンプから素晴らしいサウンドを得るのは簡単です。一般的に、このような環境ではアンプをフルパワーにするだけで、素晴らしいサウンドが得られます。自宅や小さな部屋での演奏は話が別です。このような場合、部屋の音響特性がアンプ以上に影響し、アンプから聴こえるサウンドに現実的な問題を引き起こすことがよくあります。狭い部屋で起こり得る問題には、多くの種類があります。ここでは、それらに対処する方法をいくつかご紹介します：

フロア・リフレクションズ

狭い部屋で、アンプを広葉樹やタイル、コンクリートの床の上に置いている場合、アンプの前の床が反射して、アッパーミッドレンジがキツク聴こえることがあります。この問題を解決するには、アンプの前に小さなカーペット（またはドアマットなど）を敷いてみてください。

アンプの設置場所

まず始めに、インペリアルは床に直接置いたときに常にベストであることに留意すべきである（後に述べる1つの例外を除く）。床から離して、スタンドやその他の装置の上に置くと、音色のバランスが最適になりません。必要以上に薄く、明るい音になってしまいます。

次に、部屋のどこにアンプを置くか、そしてリスニングポジションに対するアンプの向き（アンプが自分に向いているか、自分から離れているか）によって、聴こえるサウンドが大きく左右されることがわかります。

部屋の中でアンプをいろいろな場所に移動させ、それぞれの場所でアンプを鳴らしてみ、最も良い音が出る場所を見つけることを強くお勧めします。

また、オン軸（自分に向けて直接聴く）かオフ軸（自分から離れて聴く）かによって、アンプのサウンドが劇的に変化することにお気づきでしょう。私は一般的に、ややオフ軸なリスニングポジションをお勧めします。ご自分のリスニングルームに最適な向きを見つけるため、いろいろ試してみてください

カーペット

カーペットが問題を引き起こすこともあり、高域をロールオフしてアンプの音を暗くするという単純なものではありません。多くの場合、カーペットは中音域のある部分に凹みを生じさせ、中音域の下側に穴を空け、アンプのサウンドをトップエンドでキツく、もろいものにしてしまいます。これは通常、アンプを部屋の別の場所に移動してもどうにもなりません。私が見つけた唯一の解決策は、アンプを床から数センチ上げることです。そうすることで、ボトムエンドが多少損なわれるかもしれませんが、ミッドレンジのレスポンスが滑らかになるというプラスの効果があることを補って余りあります。

バックワード・アンプ・トリック

小さな部屋では音響特性に問題があり、最高のアンプ・サウンドを得るためには、より思い切った対策を講じる必要があります。ステージで使われているのを見たことがあるかもしれないトリックを紹介しよう。私のようにロイ・ブキャンのファンなら、アンプを後ろ向きに置き、アンプの背面が客席を向くようにしたライブ・パフォーマンスのビデオを見たことがあるかもしれません。彼がライブでこのようなことをする理由は、ここで私たちが懸念していることとは多少異なりますが、それでも、狭い部屋でアンプの音に問題がある場合は試してみることをお勧めします。アンプのアッパーミッドレンジのピーキーな音や、部屋全体が明るすぎる音に悩んでいる場合は、アンプの背面が自分の方を向くようにアンプの向きを変えてみてください。そうすることで、明るい部屋でも大きな違いが生まれます。

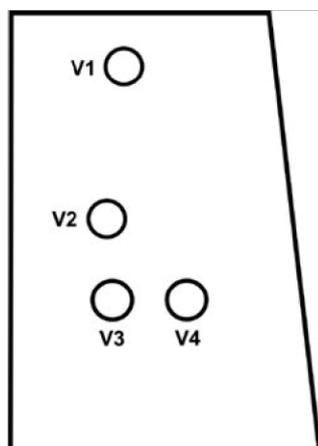
ヘルプ

これまで、アンプをオーバードライブやディストーションに追い込む場合に、アッテネーターを使ってボリュームをコントロールすることを説明してきました。しかし、狭い部屋でのクリーン・トーンにも大いに役立ちます。通常、大音量で鳴らせる部屋では、クリーン・トーンをダイヤル・インする際、アッテネーター・ノブを0dbに設定するか、アッテネーターをバイパスします。こうすることで、常にヘッドルームが最大になり、明瞭度とダイナミクスが最大になります。しかし、部屋の中でアンプのサウンドがキツク聞こえたり、Volumeノブの設定を1と2の間にしているためにボリューム・コントロールが難しい場合は、アッテネーターが役立ちます。HF CompスイッチをMaxに設定した状態で、アッテネーターを数段下げて（例えば-15db）、Volumeコントロールを少し上げて補正してみてください。アッパーミッドが滑らかになり、存在感を失うことなくトーンが太くなるのがわかるはずです。

7 チューブの取付と交換

チューブタイプの選択

以下のチューブタイプを推奨します。



No.	Type	Function
V1	12AX7	Preamplifier
V2	12AX7	Phase Inverter
V3-V4	5881	Output Tubes

出力管の選択

Falcon Grandeは5881出力管に対応するよう設計されている。ファルコン・グランデに6L6を取り付けることもできます。6L6はドロップインで交換でき、調整は必要ありません。ファルコン・グランデの場合、6L6はブレイクアップが少し遅くなりますが、トップエンドでは少し眩しいかもしれません。

代替チューブの選択

プリアンプのゲインが好みに合わず、十分なクリーン・ヘッドルームを得るためにボリューム・コントロールをかなり下げているようであれば、V1ポジションに12AU7か5751を交換してみるとよいでしょう。

チューブの取り付け

真空管を取り付ける際、アンプを横にしてテーブルの上に置き、アンプの背面に直接ライトを当てると、真空管の位置を確認しやすくなります。真空管は正しい向きに取り付けてください。12AX7真空管にはピンのリングに空白があり、シャーシにある真空管ソケットのピンのリングの空白と一致しなければなりません。5881のチューブには、チューブピンのリングの中央に割り出しキーの付いた小さなシリンダーがあり、この割り出しキーをシャーシのソケットの対応するスロットに合わせる必要があります。

出力管の交換

Falcon Grandeの出力段はカソードバイアスで、出力管を交換する際にバイアス調整は必要ありません。Falcon Grandeの出力段の設計は、真空管の特性のばらつきに対してかなりのマージンを許容しているので、どのような既知のブランドの5881や6L6でも正しく動作し、正しくセルフバイアスされます。

チューブの品質

現在製造されている真空管は、中国、ロシア、チェコ共和国で製造されており、真空管製造の"栄光の時代"に米国メーカーが製造した真空管と同じ品質基準で製造されているわけではありません。私たちミュージシャンは、その音色のために真空管を選ぶが、最近手に入る真空管は不完全な装置である可能性があり、アンプ全体の中で最も信頼性の低い部品であることは間違いありません。真空管の問題は一般的に、パチパチというノイズやマイクロフォニックスとして現れます。このノイズは、連続的、散発的、機械的な振動に反応して、あるいは、特にコンボ・アンプでは、演奏に反応して発生することがあります（例えば、音を叩いたときだけパチパチというノイズが発生するなど）。

当社では、すべての真空管を徹底的なバーンインとテストにかけることで、真空管が完全に仕様に適合し、完璧に動作することを確認しています。しかし、真空管の故障のほとんどは、その寿命の初期に発生し、アンプが輸送中に受ける揺れや衝撃のために発生する可能性があることにご注意ください。ToneKingでは、徹底的なテストを行っていますが、初期の真空管の不具合は、そのようなテストでは必ずしも見つけることができません。最初の2ヶ月ほどは、どの真空管セットにとっても最も不安定な時期です。製造上の欠陥のほとんどは、最初の2ヶ月で明らかになりますが、多くは、バーンイン期間後でさえ、初期テストでは検出できません。

この期間中、アンプのノイズ、クラックリング、ハム音、その他の異常な動作に気づいたら、それは真空管の欠陥によるものである可能性が高いので、デバッグする必要があります。

8 保証

Tone Kingをお選びいただきありがとうございます。Tone Kingは、世界有数の最も信頼性の高いハンドワイヤリング・オールチューブ・アンプとスピーカー・キャビネットです。当社は、出荷前に各製品に対して徹底的なテストを実施しています。万が一、アンプに問題が発生した場合は、別紙の保証書をご参照ください。

アンプ

Tone Kingの保証を利用するには、購入証明書を保管してください。本保証は、事故、怠慢、乱用、通常および摩耗、災害、誤用、乱用、過度のパワーアップ、過失、不適切な梱包または発送手順、Tone Kingが書面で承認または承認していないサービス、修理、製品への改造によって生じた損傷を修理するためのサービスや部品には適用されません。**アンプの改造は保証を無効にします。**本製品が上記の保証のとおり材料または製造上の欠陥がある場合、修理または交換となります。

**注意：ご自身でアンプの修理、改造、サービスを行わないでください！
すべての安全に関する通知、警告、指示については、取扱説明書をお読みください**

他の真空管アンプと同様、Tone Kingにも非常に高い電圧がかかっています。アンプからシャーシを取り外さないでください。すべての修理およびサービス作業は、販売店を通して代理店の許可の元、行って下さい。許可なく修理を行った場合、保証は無効となります。

チューブ

Tone Kingは、Tone Kingに使用されている特定のチューブが、購入日から90日間、材質および製造上の欠陥がないことを、最初の購入者に保証します。日付入りの販売レシートがあれば、この保証の適用範囲となります。この真空管保証は、最初の小売販売日から90日後に自動的に終了します。この真空管保証は、他のすべての明示的な保証に代わるものです。90日間の保証期間内に真空管が故障した場合、販売店へ連絡の元交換または修理を行って下さい

偶発的または結果的損害

Tone Kingは、いかなる場合においても、Tone King製品の使用または使用不能から生じる偶発的または派生的損害について、たとえTone Kingのディーラーがそのような損害の可能性について知らされていたとしても、あるいは他のいかなる当事者によるその他の請求についても責任を負いません。

Tone Kingを選んでいただき、ありがとうございます！



正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>

9 CE宣言

Premier Builders Guild, LLC
201 S. Highland Avenue, Suite 204
Pittsburgh, PA 15206
412-362-0309



DECLARATION OF CONFORMITY Report #R070212

We, Premier Builders Guild, in coordination with CES Laboratories, declare, taking this declaration under our total responsibility, that the below models are in conformity with the provisions of the following EC Directive(s) when installed in accordance with the installation instructions contained in the product documentation:

2006/95/EEC Low Voltage Directive
2004/108/EEC EMC Directive
2011/65/EEC RoHS-Directive

And that the standards and/or technical specifications have been applied to the following families of products:

	Imperial	Metropolitan
	Galaxy	Falcon
	Sky King	Royalist
	Imperial MK II	Falcon Grande
Manufacturer/Importer	Ironman II Mini	Gremlin

Date: 8/25/2015

Signature:

Name and Title: Christopher W. Fleming
U.P. PROJECT ENGINEERING

Approved By:
Chandra Garudachar
President
CES LABORATORIES

Prepared By:
Jyotsna Bedi
23361 Cypress Pt
Mission Viejo, CA 92692